



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

予選レポート

2025/7/19 Rd-6 FUJI SPEEDWAY

天候：晴れ 気温：28°C 出走台数：22台

多くの学校で夏休み最初の週末となる7月19日・20日、第4大会富士スピードウェイは、『スーパーフォーミュラ夏祭り2025』として数々のコンテンツを準備して開催される。6月に富士スピードウェイで開催された公式テストでも総合トップタイムを記録し、現在ポイントランキングトップの牧野選手と、ポイントランキング2位で自信あふれる太田選手の両ドライバーにとっても、チャンピオンシップ争いをさらに優位に進めるためには、予選でのポイントも獲得したいところ。

第1予選A組の太田選手は、ウォームアップラップを2周回する予定でセッション残り6分を切ったところでコースイン。慎重にタイヤに熱を入れアタックへ。

太田選手は第2セクターでややタイムロスするが、第3セクターでタイムを伸ばし4位で第2予選に進む。

B組 牧野選手は、予選開始とともにユーズドタイヤでチェックランのためコースイン。

しかしコースシグナルのトラブルで予選は10分遅れで仕切り直しに。

B組予選再開後、牧野選手は残り5分でコースインすると1周回のウォームアップランを挟んでアタック。第1セクターで好タイムを記録するが、第2第3セクターでタイムを伸ばせず4位で第2予選へ。

続く第2予選、第1予選のフィーリングを基に、両選手ともセットアップに変更を施す。

牧野選手はグリップ不足を解消できず第3セクターでタイムを伸ばせず6番手タイム。

太田選手は勢い余ったか第2セクターでコースをはみ出してしまう。これが走路外走行となり当該周回タイム抹消。予選12位となった。

5：牧野任祐選手 予選6位 (第1予選B組4位、第2予選6位)

リアのグリップ感を感じることが出来ず、予選はかなり苦戦しました。6番手3列目スタートのポジションが精一杯だったというか、このポジションで持ちこたえることが出来て良かったと思うほどです。予選でポイントが取れなかつたことは残念です。

決勝セットアップはまた別物ですし、3列目スタートは十分上位を狙えるポジションですから、スタートに集中して挽回したいです。

6：太田格之進選手 予選12位 (第1予選A組4位、第2予選12位)

昨日のフリー走行から車には好感度を持っていて、ただ第2セクターで後れを取っている部分がありました。アタックラップではその部分でブッシュしすぎ、コースを外れてしまい走路外走行のペナルティを受けてしまいました。決勝ペースには自信があるので、後方からの巻き返しでポイントを持ち帰りたいと思います。